

三井住友フィナンシャルグループと環境問題

地球環境の保全は、現代の最優先課題の一つです。金融機関の公共性や社会に対する責任を踏まえれば、金融機関が環境問題に真剣に取り組むことは、当然の責務といえます。

当社およびグループ会社は、環境問題を重要な経営課題と認識し、活動の基本方針として「グループ環境方針」を定めています。また、グループCSR委員会を設置し、グループ各社で連携した活動を推進しています。

「グループ環境方針」

<基本理念>

当社グループは、「持続可能な社会」の実現を重要課題のひとつであると認識し、地球環境保全および汚染の防止と企業活動との調和のため継続的な取り組みを行い、社会・経済に貢献します。

<グループ環境方針>

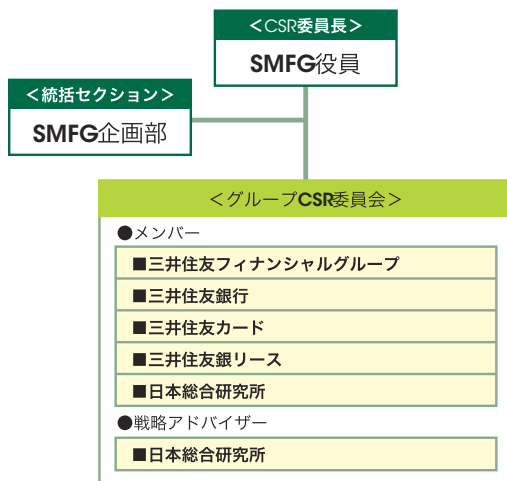
- ◆ 地球環境の維持向上に貢献できる商品・情報・ソリューションの提供を通じてお客さまの環境問題への対応をご支援します。
- ◆ 環境に関するリスクを認識し、当社及び社会全体の環境リスクの低減を図ります。
- ◆ 省資源、省エネルギー、廃棄物の削減などの取り組みを通じ、社会的責任の履行を果たします。
- ◆ 環境関連法令・規則等を遵守します。
- ◆ 環境に関する情報を開示し、社内外との対話を通じて環境保全活動の継続的な改善を図ります。
- ◆ 本方針の社員への徹底と社内教育に努めます。
- ◆ 「環境経営」を積極的、かつ効果的に実践するために、各事業年度に目的・目標を設定し、それらの見直しを行い、取り組みの継続的な改善に努めます。
- ◆ 本方針は、当社ホームページ等で公表し、外部からの要請があれば配付を行います。

平成17年6月29日 株式会社 三井住友フィナンシャルグループ 社長 北山 禎介

三井住友フィナンシャルグループでの環境配慮行動

当社グループでは、「グループ環境方針」に基づき、①環境負荷軽減（社会的責任の履行）、②環境リスク対応、③環境ビジネス、の3つを環境配慮行動の柱としています。グループCSR委員会では、この柱を中心に環境目標を設定し、計画の策定、実行、点検、見直しのPDCAサイクルに従い、計画的に環境活動に取り組んでいます。なお、三井住友銀行および日本総合研究所は、環境マネジメントシステムの国際規格である、ISO14001の認証を取得しています。

「グループCSR委員会」



「環境配慮行動とPDCAサイクル」

